

広報

なまじん

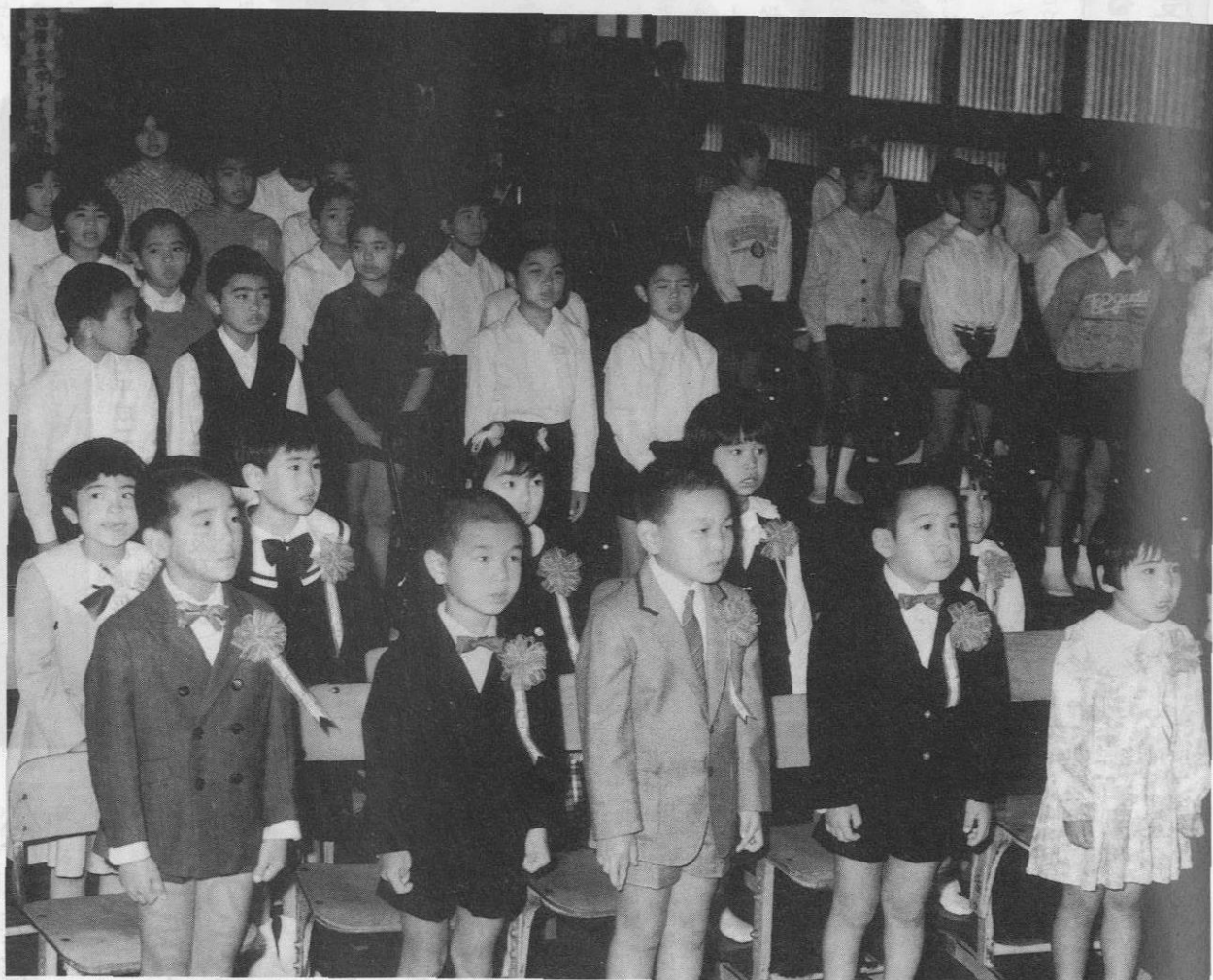
1990年

5月

No. 174

村章

毎月1日発行



▲湧川小学校の入学式

希望に胸ふくらませ 各小学校で入学式

村内の小学校において四月七日、九日の両日入学式が行われ兼次小学校三十四人、今帰仁小学校五十七人、天底小学校二十六人、湧川小学校十人、古宇利小学校一人の新一年生が新たな門出を迎えました。

湧川小中学校では、新一年生が緊張とうれしさのなか入学式に臨んだ。式で島袋政春校長は鉄砲耳、ざる耳、サイフの耳の三つの耳のたとえ話をし、「お父さんやお母さん、先生の話をよく聞いてサイフの耳を持つようにして勉強やスポーツにがんばりましょう。ご家族の皆様も子供たちを励まし夢を与えるとともにやさしく見守って下さい」とあいさつした。

その後、「一年生になったら……」と元氣よく歌い学校生活の第一歩を飾った。

また、古宇利小中学校においては記念すべき創立百周年を迎える今年、たったひとりの新一年生小波津睦さんの入学を島ぐるみでお祝いしました。

今帰仁村の人口

平成2年3月31日現在

男
4,799
(-31)

女
4,856
(-24)

世帯数
3,023
(-6)



村の人口 9,655
(-55)

予算決まる
平成二年度

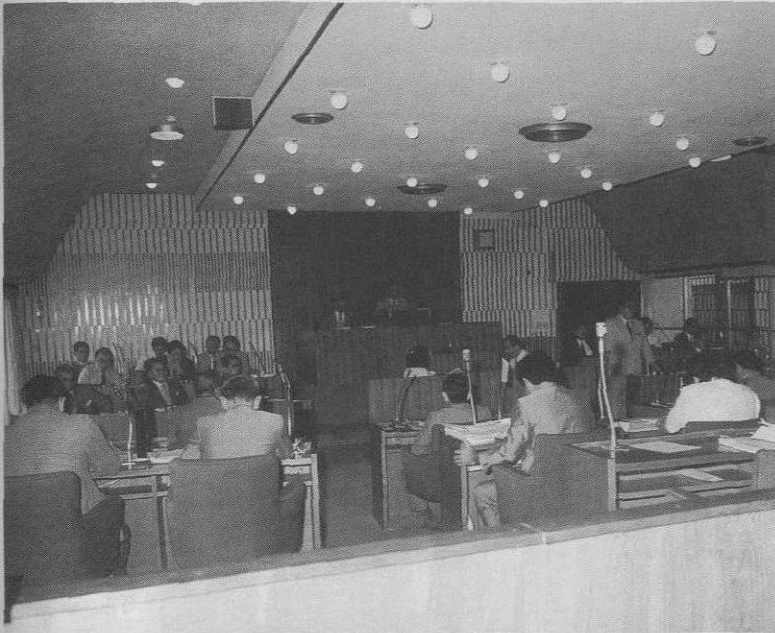
うるおいとやすらぎのある 村づくり事業を進める

一般会計 (33億3千8百35万円)

国保会計 (5億6千77万2千円)

水道会計 (2億5千5百19万円)

老保会計 (4億6千3百24万9千円)



▲議会の審議風景

教育・産業・福祉の向上をめざす

三月十二日に招集された平成二年第一回今帰仁村議会定例会は平成二年度一般会計予算をはじめ、国民健康保険、水道、老人保健各特別会計予算及び条例、平成元年度の補正予算を議決し、その他の案件を処理し三月三十日に閉会しました。

今議会における提案要旨説明については、前号でも紹介しましたが、今月もひきつづき残された部分を掲載してお知らせします。

△村長提案事項説明▽

(前号よりつづく)

2 うるおいとやすらぎのある福祉と保健衛生



財政再建を進めるわが国の財政状況は、依然として厳しいものがあり、社会福祉事業においてもかつてのような大幅な予算増加を期待することはむずかしい情勢であります。しかしながら、このような厳しい情勢の中でありましても、(1) 老人福祉

(1) 老人福祉について

いとやすらぎのある生活環境づくりを推進してまいります。

(2) 児童福祉 (3) 環境保健衛生 (4) 国民健康保険 (5) 国民年金等村民生活に密着した福利厚生行政の充実強化を図り、福祉村の建設を目標に行政を展開しなければならぬと考えるものであります。

老齡化社会が進む中、本村においても老人人口は(平成元年九月現在千八百十六人)で全人口の十八・七%に達しています。また核家族化による一人暮らし老人(二百四十四人)やねたき老人(百十一人)が年々増加しており、高齡化対策は村政の大きな課題となっております。

したがって、国や県の制度にのって行われる補助事業の導入はもとより、弱い立場にある方々への理解を深めていくことが肝要であります。そのためにはボランティアを養成し、民生児童委員、老人クラブ、婦人会等のご協力を得ながら地域への啓発指導を行い、連帯と相互扶助精神の高揚により、うるお

このような状況をふまえ、村ではこれまでも老人の生きがい対策の一環として村コミュニティセンターを活動の拠点として、行政と社会福祉協議会がタイアップして老人クラブ活動や家庭奉仕員派遣事業、ねたきり老人等短期保護事業などを実施して大きな成果を収めてきました。今年度もこれらの事業を引き続き推進するとともに、新規

事業として六月一日を目途に地域振興基金を活用した「デイ・サービス事業」を実施してねたきり老人の予防や一人暮らし老人、虚弱老人の生活の自立、社会的孤立感の解消を図ってまいります。

また今年度から老人ホーム乙羽園の協力を得て月二回の「ふれあい給食サービス事業」を実施する計画です。これは友愛訪問活動の一環として行うもので民生委員、老人クラブ、婦人会などでグループを作り一人暮らし老人を訪れ対話を深めたり、安否確認を目的とする事業です。

このように多年にわたり、社会の進展に寄与してきた老人が敬愛され、かつ健全で安らかな生活が営めるよう諸施策を展開してまいります。

(2) 児童福祉

こころ



二十一世紀を担う乳幼児童が心身ともに健やかに育つことは村民すべての願いであり、期待するところです。ようするにすべての子どもが人として尊ばれる社会の一員として重んぜられるとともに、よりよい環境の中で育てられなければなりません。

そのためには社会環境の改善もさることながら、家庭がその育成の基盤であり、子ども達は各家庭で正しい知識と愛情によって育てられることが大切なことは申すまでもありません。一方家庭にかわって営まれる保育事業や障害をもつ子どもには、地域や行政の立場からあたたかい手をさしのべ、急激に変動している社会生活の中で、ともすれば疎外されがちな児童への施策を積極的に推進する必要があります。

① 保育事業について

保育事業につきましては、豊かな人間性と創造力に富んだ心身ともにたくましい子供の育成のため、保育環境の整備をより充実させ、伸び伸びと保育していく方針です。また昭和五六年から実施している障害児保育も関係者から高い評価を得ており、引き続き行つてまいります。これによって子どもたちは、いとわりと助け合う心が養われ、真の人間性を育むことに大きな成果をおさめているところです。

② 子供の教育

充実について

障害児保育から一貫した指導体制が必要なことから、社会福

祉協議会では、「ことばの教室」を開設してことばに遅れのある幼児（構音障害、どもり、自閉症、ダウン症、口蓋裂、精神発達遅滞等）の指導を行つて大きな成果をあげてきており、今年度からその事業に対する助成をしていく計画です。この事業の強化によってことばに遅れのある幼児の早期発見と、早期治療のための指導が十分になされていくものと思ひます。

(3) 保険衛生事業

こころ

村民の一人ひとりが健康で明るく楽しい生活を営むためには、自然環境の保全とともに公害を防止するための地域環境づくりが最も大切であります。したがって今年度も従来から実施しているそ族昆虫駆除、野犬捕獲などの事業とともに地方改善事業を実施して生活排水路の整備を進めてまいります。

清掃業務については、老朽化した収集車を新車に買い替えていく計画です。消費生活の向上に伴い排出されるじん芥の量も年々多くなってきており、その対策の検討も進めてまいりたいと考えております。しかし、い

くら生活環境が整備されても、主体となる村民が健康で生きがいを感じていなくては村づくりは成り立ちません。そこで本村では予防接種事業（日本脳炎、風しん、DT、インフルエンザ、BCG）を実施して可能な限りこれらの疾病予防に努めてまいります。また、健康相談、機能訓練、ねたきり訪問指導とともに子宮ガン検診、乳ガン検診などのガン検診のほか、昭和五十八年度からは毎年住民検診を実施し、疾病の早期発見に努め適切な指導を実施しています。今年度はこれらの事業強化のため国、県補助による保健指導車を購入し、内容の充実を図つてまいります。また母親の健康と乳幼児の健やかな発育をめざして行われる母子保健事業では、各種検診のほか妊婦相談、乳幼児相談など、村民の健康増進のため幅広い事業を続けてきており、今年度も引き続きこれらの事業も充実させ推進し、健康で快適な生活を営めるよう努めてまいります。

なお、村立診療所の施設の充実のために国、県の補助である「へき地診療所施設整備事業」を導入して内容の充実を図つてまいりる所存であります。火葬場、葬斎場の建設計画については、国、県の補助制度を

(4) 国民健康

保険について

活用し年次的に施設の充実を図り村民福祉の向上に努めてまいります。昭和三十七年からスタートした国民健康保険事業は村民の健康増進と地域医療の確保に大きく貢献して参りました。

国民健康保険は人口の高齢化、医療施設増加、医療の高度化、疾病の多様化、長期化による医療費の増大、国庫負担率の削減や保険税の引き上げ等多数の問題を抱え厳しい状況下にあります。しかし、国民健康保険制度の使命とその性格に鑑み、国保事業の適正運営を図るため、医療給付費適正化対策、保険税の適正な賦課及び期限内納付の奨励、滞納整理の強化等の収納率向上対策を図り、経営努力を一層推進していく考えです。又、保険施設事業の充実強化の為、住民検診の推進、コミュニケーション事業によるテレビ、ビデオ、自動血圧計の購入等により、健康教育を推進し、村民の保健の向上、生活の安定に尚一層努力してまいります。

(5) 国民年金について

国民年金は、すべての国民を対象に、共通の基礎年金を支給し、健全な国民生活の安定を図ることを目的としています。

本村の国民年金加入者は、昭和六十三年末現在で二千八百五十八人、保険納付月数一万三千二百六十一月、一億五百五十四万五千円の納付状況になっています。

年金受給者も年々増加し、昭和六十三年度の拠出年金受給者千六百四十八人、七億三千五百四十六万九千円、福祉年金受給者四十七人、一億千七百六十四万千円、合計八億五千三百一十一万千円の巨額に達し村民の福祉の向上に大いに貢献しています。国民年金取納特別対策事業の実施により、平成元年度スタートした村全体の国民年金推進協議会及び、全字に推進協議会を結成し、村ぐるみの年金推進対策を図っています。又、指導員も二人採用し、戸別訪問による勧誘指導、納付指導を展開して参りました。

平成二年度においても、国民年金取納特別対策事業により、指導員一人の増員を図るとともに、広報車の導入、村広報紙の活用、年金推進協議会の活動に

より、無年金者がでないよう加入、納付等の周知徹底を図り、

村民の福祉の向上に努めてまいります。

3 輪と和でつくる

住みよい環境



(1) 道路整備について

村道路整備事業第十次五ヶ年計画を策定し計画的に道路整備を進めて居りますが、村民の道路に対する強い要望と期待を受け着実な整備を通じ地域活性化を図る必要があります。

本年度は、継続工事である仲尾次立石前原線外四件と新規採択湧川港線の工事計画があります。尚、平敷、伊豆味、越地与比地小浜線の設計調査委託を予定して居ります。

今後とも厳しい財政事情等がありますが、道路整備推進の手を緩めず地域振興を支える道路づくりを目指してゆきたいと思っておりますので道路行政に対するご理解とご支援を下さいます様希望する次第でございます。

(2) 運天港フェリーバス

ース整備について

モデル事業の取り組みが始められてから十二年余りの歳月が経過し、進捗率も平成元年度では八十%台にのり、後三年程度で事業完了の見込みであります。

伊平屋村の定期航路を運天港

にと三村が一九二となって県に対して強力的な要請で進めてきた仮バースの整備がいよいよ平成二年度予算で着工への段階になりました。また両村の定期専用

バース並びに運天港湾全体整備に向けても県土木建築部港湾課では平成元年度より環境アセスメント現況測量、施設配置等の調査が委託され、第八次港湾整備五ヶ年計画にのせて実現化のはこびになって居ります。

運天港湾整備に伴い本村にとつても運天港の活性化、産業振興や観光振興等に大いに期待されます。

(3) 農村総合整備モデル事業について

ル事業について

モデル事業の取り組みが始められてから十二年余りの歳月が経過し、進捗率も平成元年度では八十%台にのり、後三年程度で事業完了の見込みであります。

本村の魅力ある定住条件の整備と農村社会の活性化の促進を図るため生産基盤と生活環境を計画的かつ一体的に整備してまいりましたが、今後も前年度に引き継ぎ農業用排水、農業集落道、農村公園等の整備を実施致します。

(4) 村営住宅

建設について

年々深刻化する住宅不足を解消するため、昭和五十九年度から建設を始めた村営住宅は、平成元年度までに、村内六ヶ所四十八世帯の建設が行われ、若者の定着化に大きな効果をあらわしつつあります。今後とも核家族化の傾向を受けて、村内の住宅不足が予想されますので、需要の動向をみながら、年次的に住宅建設を進めていく予定であります。

(5) 水道事業について

なお、平成二年度に勢理客地区に六世帯を建設する予定です。

水道事業は、村民生活に欠くことのできない重要な事業であり、施設も着実に充実して参りました。

今年度は謝名地区簡易水道施設整備工事として、馬場の慰霊塔前を基点に越地集落の幹線の配水管布設替を実施してまいります。また、諸志地区簡易水道施設整備工事の電気計装設備をして施設の充実を図ってまいります。今後とも未整備施設を国庫補助事業で年次的に施設し、水道施設の改良を図ってまいります。

更に水道事業の健全な運営を図り、今後とも水の安定供給、有収率の向上を図ると同時に村民の御協力を求めながら収納率の向上も高めてまいります。

4 心豊かにたくましく

生きる村民の育成

(1) 教育行政を進めて

いく基本的な考え

① 教育基本法に示された人間尊重の精神に立って知育、徳育、体育の調和のとれた人格の完成をめざし、自主性、創

造性に富む豊かな人間性を培うよう努めます。

② 郷土の自然と文化を愛し、平和で明るい社会の建設に貢献する「豊かな心でたくましく生きる村民の育成」をめざして努力します。

③ 長寿社会の到来を迎えた今日、生涯教育を推進する立場からたえず自己啓発をつづけ、村民の資質の向上、うるおいのある心豊かな人間性を育くむ教育行政を進めていきます。

(2) 学校教育の

振興について

二十一世紀を担う児童生徒の豊かな表現力とねばり強さをもち心身共にたくましい村民を育成するため、学校教育を生涯にわたる学習活動の基礎づくりとして位置づけるとともに学校を児童生徒の人格形成の場として教育環境の充実に努めてまいります。

本村における教育の現況について申し上げますと、学校教育において、児童、生徒の知、徳、体の調和のとれた全面発達をめざすとともに、平成元年度から三ヶ年間「基礎学力向上推進地域」として県教育委員会の指定を受けており、村の発展は、「人

づくり」にあるという考えのもと、学校、家庭、地域、行政が一体となって学力向上に取り組み「教育立村」の復活をめざして日夜努力しているところであります。

また学校の施設は、ほぼ整備されつつありますが、今後老朽校舎の改築、内部設備の充実、環境美化等の整備に一層努力し児童生徒の学力向上に直接つながるよう努めてまいります。

新年度は、長年の懸案であった今帰仁中学校の北側の擁壁工事を予定しております。

(3) 社会教育の

振興について

村民の多様なニーズに応え、「いつでも、どこでも、だれでも学べる学習社会」の確立をめざし、生涯教育を推進するために、生涯学習の場としての社会教育施設設備の整備をしてまいります。

本年度は、教育関係者はじめ村民から要望の強かった屋根つきの村営プールの建設を予定しています。

歴史資料館建設については、平成元年から学芸員を配置し、歴史資料館設立準備室を中心に建設に向けて計画を進めており

ます。更に村民が自ら進んで学習する意欲と能力を養うため、生涯の各時期における望ましい人格の形成をめざして各大会の開催はもろろん、各種学級、教室、講演、村民芸術劇場等を実施して村民の資質を高め、うるおいのある村民生活の向上に努めてまいります。

③ 青少年の基本的な生活習慣の確立
以上の三点をあげて青少年の健全育成を図ってまいります。

(4) 青少年の健全

育成について

社会の急速な変化に適切に対応し、心身ともに健やかで、創造性豊かな青少年を育成することは、わが村の将来にかかわる村民的課題であり、子をもつ親や教師の心からの願いであります。

ところが青少年を取りまく教育環境は著しく変化し、青少年の問題行動、家庭、地域の教育力の低下等次代を担う子供たちの成長にさまざまな影響を与えています。

本村の青少年の健全育成の推進については、村青少年健全育成協議会、村学力向上対策委員会、家庭教育部会、地域教育部会を中心として、行政が一体となった指導体制の強化を図ってまいります。

① 健康な身体とたくましい精神力をもった青少年の育成

② 地域活動に積極的に参加し、友愛と連帯の輪をひろげる青少年の育成

③ 青少年の基本的な生活習慣の確立
以上の三点をあげて青少年の健全育成を図ってまいります。

なお新年度から青少年の交流事業を推進し、他県の青少年との交流及び訪問地の参観活動を通じて視野をひろめるとともに規律ある団体活動、自らの役割と責任を自覚し、連帯意識の涵養を育て、青少年の健全育成及び学力向上対策の一環として実施してまいります。

運動公園を中心に社会体育施設を開放し、村民が体育、スポーツに親しむ習慣を養い、生涯を通して継続的にスポーツを楽しみ、明るく豊かな活力ある生活を営む態度を育ててまいります。

(5) 文化、スポーツ

の振興について

村民に歴史と文化にあふれる

5 暮らしを支える

産業の振興について



(1) 農業の振興

最近の農業を取りまく情勢は、農畜産物の輸入自由化、又、産地間との競争の激化等厳しいものがありますが、本村の農業は

場と機会を提供し、文化に対する理解を深め、文化財の保存、活用及び芸術文化の振興を図ってまいります。

本村には国、県指定文化財をはじめ価値の高い文化財や埋蔵文化財が数多く分布していますので、その調査と保護策を構じてまいります。

国指定の今帰仁城跡の整備事業については、整備委員会の意見を尊重して、文化庁、県教育委員会の補助とご指導を受けて事業を推進してまいります。

スポーツの振興については、運動公園を中心に社会体育施設を開放し、村民が体育、スポーツに親しむ習慣を養い、生涯を通して継続的にスポーツを楽しみ、明るく豊かな活力ある生活を営む態度を育ててまいります。

そのため、体育指導員を中心に指導体制を強化し、各種スポーツ大会等を開催し、スポーツの普及発展に努めてまいります。

各種の施策により、その効果を挙げつつあり、花き、スイカ等生産性の高い農業が行われ、農家経営も安定しつつあり、農家所得は県内でも上位にランクされるに至っております。

しかしながら農畜産物の自由化に対処していくには、足腰の強い農業の振興を図る必要があります。そのため農業基盤の整備を推進し、意欲ある中核農家の経営規模の拡大を図り生産の合理化、技術の向上等を推進してまいります。したがって今後とも土地基盤の整備、農業近代化施設等の導入、又、農業構造改善事業の推進に努力してまいります。

特に農業基盤の整備については継続中の今泊土地改良事業、天底土地改良事業、湧川風山県営土地改良事業の早期完了に向けて努力してまいります。又、新規採択に向けて去元とも充分話し合つて強力に推進していきたいと思います。

作物の振興について、花き、さとうきび、スイカ等を中心に野菜、パインアップルの振興を図つてまいります。特にパインの自由化に対処していくためには、国、県の指導を受けながら優良品種の導入を図ると共に、生産技術の向上、出荷体制の整備並びに観光パイン産地化等も

図つてまいります。畜産の振興については、牛肉の自由化を控え本村の畜産農家にもその影響があるものと予想されますが、輸入牛肉と勝負するには、高品質の肉用牛を生産する必要があります。そのため優良子牛生産の奨励、畜産共進会を通じ技術の交流を図り、又、計画交配事業等を推進してまいります。

(2) 林業の振興

について

林業の振興について、亜熱帯地域の自然条件を有効に活用した林業の振興を図るため、林業振興特別対策事業、森林総合整備事業、松くい虫防除事業を推進してまいります。

(3) 水産業の振興

について

水産業の振興については、漁港の整備を計画的に実施し生産流通体制の確立を図るため運天漁港建設事業を積極的に推進し、又、ウニ移植栽培漁業の奨励、漁船の近代化、漁業組合の育成強化等を図り水産業経営の安定を図つてまいります。

(4) 商工及び観光の振興について

振興について

商工観光の振興については、商工業の経営基盤の組織化、流通体制の整備を図るため、商工会に対する助成信用保証等情報化社会に適した宣伝等を推進してまいります。又、観光振興について本村の紹介、宣伝等を常に行い、観光客の誘客及び受け入れ体制の強化、心豊かなふるさとづくりによる緑化、観光地の美化等につとめてまいります。

(5) 農業委員会等の業務について

業務について

農業、農村はいま、国際化を図るために、農業構造の加速的な推進が求められており、国際化時代に対応し得る足腰の強い農家の育成、生産性の向上を目的に生産基盤の整備をはじめ、農地等の集積による経営規模の拡大、中核的担い手農家の育成確保等、自立経営農家の育成を目指す農地の流動化を中心とする構造政策を今年度も引き続き推進していく所存であります。本年度は、農業委員会活動の重点事項として系統組織、団体

と連帯のもとに農地を守り有効利用する運動等農政活動の充実を図ります。また農業、農政に関する情報等を農業者に正しく伝え、農業者への世論の喚機、農業に対する村民の理解を深め

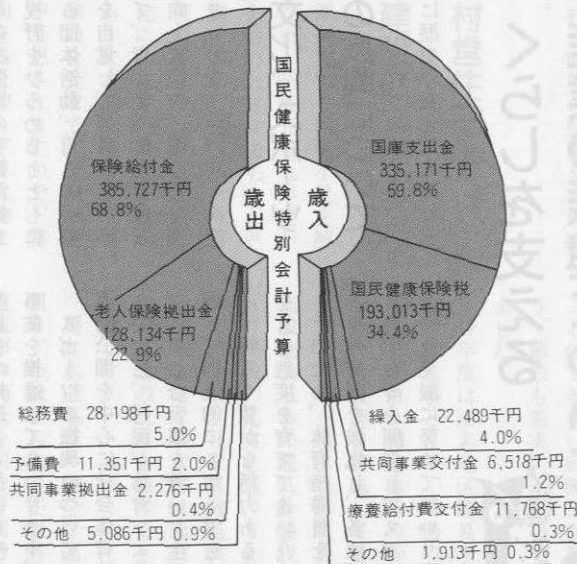
るための啓蒙、宣伝活動の一環として農業委員会だよりを発売するとともに、農業委員会活動の基本となる農地基本台帳を整備、補充し、農地等の利用増進を図ります。

水道事業特別会計予算

歳入		歳出	
款	金額(千円)	款	金額(千円)
事業収入	136,403	総務費	38,093
国庫支出金	55,186	事業費	164,158
繰入金	34,000	公債費	51,152
繰越金	1	災害復旧費	2
諸収入	500	予備費	1,785
村費	29,100		
歳入合計	255,190	歳出合計	255,190

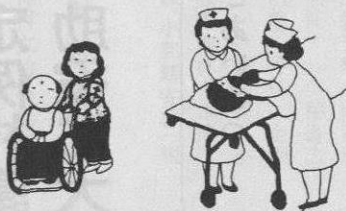
老人保健特別会計予算

歳入		歳出	
款	金額(千円)	款	金額(千円)
支社基金交付金	324,641	医療諸費	463,241
国庫支出金	92,400	諸支金	3
県支出金	23,100	予備費	5
繰越金	1		
諸収入	7		
歳入合計	463,249	歳出合計	463,249



C+ 赤十字運動月間

5月1日～5月31日



村民のみなさまへ

日本赤十字社は、人道、博愛、奉仕を旗じるしに国内においても、また国際的にも人々の平和と幸福を願って事業を行なっております。

ことしも5月1日から「赤十字運動月間」として、県下一斉に社員増強、社資募集運動を展開いたしますので、主旨ご理解のうえなにとぞ格別の御支援、御協力のほどお願い申し上げます。

平成2年5月

日本赤十字社沖縄県支部
今帰仁村分区

分区長 上 間 博 安

▶新装なった天底小学校体育館



天底小体育館が落成 総工費1億3千万円余

天底小学校（山内晴子校長・児童数二百一人）の体育館がこのほど新造改築され、三月二十五日午後四時から落成式が行われた。

前体育館は昭和四十三年六月に建設され、村内初の体育館として村民から大きな期待が寄せられ、これまで、児童生徒の体力向上、学力向上の場として、地域住民の社会体育活動の場としてフルに活用されてきたが、老朽化が進み新造改築の運びとなったもの。

新しい体育館の総工費は、一億三千八百八十七万二千円で、事業費の内訳は国庫負担・八千八百四十六万四千円、村負担・四千二百二十三万四千円、天底小学校百周年期成会負担・百七十七万七千円。

建設面積が七百九十七平方メ

ートルで、鉄筋鉄骨造りのしやれたデザインで使いやすい設計になっている。

落成式には上間博安村長、西島一將教育長をはじめ学校関係者や校区の人たち多数が参加し、新体育館の落成を喜ぶとともに、施設の安全な活用と、児童生徒の学力向上を祈願した。

また余興の部では、各々ごと

交通事故のない村をめざそう

交通安全協議会で確認

交通安全はまごころ運転、守るルールとマナーからのスローガンを掲げて、今帰仁村交通安全協議会が四月三日午後三時から村コミュニティセンターで開かれた。

会には座間味栄金本部地区交通安全協会会長、屋部邦秀本部警察署次長をはじめ46名の会員が出席した。初めに主催者を代表

の婦人による踊りや空手などが披露され、祝賀会に花を添えた。なお落成式に先立ち、新装の体育館で、平成元年度の学芸会も行われ、児童らはうれしそうな表情をうかべながら、三味線ゆうぎ、合奏、バンド演奏などをのびのびと発表し父母らから新体育館もわれんばかりの拍手がおくられた。

して上間博安村長（今帰仁村交通安全推進協議会長）は「交通事故のない明るい社会づくりをめざし、村民が一丸となって、交通事故防止の運動を展開しましょう。」とあいさつした。

そして、平成二年度は次の事項について推進していくことが話合われた。

①若年運転者による無謀運転の防止

②子供と高齢者の歩行中、自転車乗用中の交通事故防止

③正しい方法によるシートベルト、ヘルメット着用

④交通安全のほりの掲揚

⑤街頭指導、広報の実施

新学期を迎えみんなの自覚と協力により、事故を未然に防ぐ努力をしたいものである。

三月定例村議会において 新助役に大城勝氏選任

就任のごあいさつ

助役

大城 勝



伊集前助役の御勇退に伴ない四月一日付で助役に就任致しました。松田前村長、上間村長両村政を秀れた行政手腕で支えてこられた前助役の後を受けて、微力な私がどこまでできるか不安であります。

しかし、お受けしました以上は一層身を引き締め、心を新たにして村民福祉の向上に努め村民の期待に應えてまいれる所存であります。

社会の動きが急速にしかも複雑に変貌しつつある今日地方自治

退任のごあいさつ

前助役

伊集 一隆



昭和六十三年二月に助役に就任し、三月末をもって退任致しました。その間松田村長、上間村長の補佐役として務めることができました。

いまこうして辞めてみますと助役という職は、大きな山のよななものに思います。そこから降りてきて、来し方のあれこれを振り返れば茫茫として感無量の心境であります。

きつい登り道や谷、崖などいろ

助役が決まりました。

三月定例村議会に提案されていた新しい助役の選任同意について、三月三十日与野党の全会一致で大城勝前建設課長が選任さ

治を取りまく状況は依然として厳しいものがあります。とりわけ、地方の経済や財政状況が厳しさを増していることはご承知のとおりでございます。

ところが、時代の進展等に伴ない村民のニーズがますます増大多様化している今日において村民の要望や行政需要に対応するためには、上間村長を先頭に職員一人一人の知恵と力を結集して村勢発展に努めていかなければならないと考えているところで

れました。

そこで前助役に就任のごあいさつ、新助役の伊集一隆氏に退任のごあいさつを述べていただきます。

したがいまして、職場におきましては今後、社会経済の新しい潮流の中で村民の要請に應えて種々な事業が展開されますが全職員の和をもって行政の高度化に努め、全力投球していく決意であります。

また村民の声を大切にしながら行政の推進をめざして頑張っております。どうか村民の皆様方の御指導と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

願ひ致します。

幸い後任には誠実温厚で実行力溢れる大城勝氏が就任されました。私に寄せられた以上のご交誼を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに村長を先頭に今帰仁村がますます発展することを期待し、村民皆様の御多幸を祈念し退任のごあいさつと致します。

玉城浄栄 両氏より
高良武裕 多額の寄附

謝名にある浄土真宗支度山田浄寺今帰仁布教所住職玉城浄栄氏と関西今帰仁村人会会長の高良武裕氏から村育英会にそれぞれ三十万円の寄附がありました。今回、玉城氏はお寺の落慶法要を記念して、高良氏は郷土の発展は若い人材の育成からと寄附。

また、玉城氏は障害を持っている人のために役立てばと村社会福祉協議会にも二十万円の寄附をされました。



村長に寄附金を手渡す高良氏(左)、玉城氏(右)

役場の人事異動発表

三人退職二人新採用

三月三十一日付で三人の役場職員が退職しました。退職したのは喜屋武和夫厚生課福祉係（在職二十年）玉城スミ教育委員会学校用務員（在職二十三年）安谷屋千代仲宗根保育所調理員（在職二十一年）の三人です。長い間大変ご苦勞様でした。

また、四月一日の人事異動に伴ない本部町今帰仁村消防組合消防長に田港朝茂住民課長を派遣、島袋寛総務課総務係が研修生として沖縄県地方課に出向しました。

さらに職員の退職により三人の職員を採用しました。職員の人事異動は次のとおり（内は前職）。

議会事務局

○議事係 与儀民子（総務課総務係）

○住民税係 大城あけみ（住民課戸籍住民係）

役場

〔総務課〕

○出納係長 島袋光雄（住民課国民健康保険係長） ○秘書広報係長 吉田清尊（昇任・企画財政課財政係） ○総務課小那覇安隆（建設課農林土木第二係） ○総務課小那覇安啓（税務課住民税係）

〔企画財政課〕

○財政係長 仲村文治（建設課土木建築係長） ○財政係 与那嶺悟（総務課総務係）

〔税務課〕

〔住民課〕

○住民課長 大嶺英恭（昇任・経済課農政係長） ○国民健康保険係長 吉田克巳（総務課秘書広報係長）

〔厚生課〕

○福祉係 内間悦子（議会事務局議事係） ○児童福祉係 吉田邦子（学校教育課学校教育係）

仲宗根保育所

○保育 平田愛子（中央保育所） ○調理員 玉木ナエ子（中央保育所） ○保育 崎浜保美（今帰仁保育所）

〔水道課〕

○工務係 我那覇尚一（経済課水産商工係）

〔経済課〕

○農政係長 諸喜田茂政（企画財政課財政係長） ○農政係 玉城盛彦（建設課農林土木第一係）

〔建設課〕

○建設課長 玉城修（農業委員会事務局局長） ○土木建築係長 与那嶺一広（昇任・経済課農政係） ○農林土木第二係 山内昌治（水道課工務係）

〔農業委員会〕

○事務局長 伊良波幸雄（総務課出納係長）

〔教育委員会〕

○学校教育係 西平貞子（厚生課児童福祉係）

在職中村民に

お世話になりました



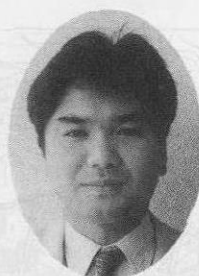
喜屋武和夫さん



水産商工係
平良民枝



戸籍住民係
喜屋武英子



社会教育係
長田光吉



安谷屋千代さん



玉城 スミさん

新採用です
よろしくお願ひします

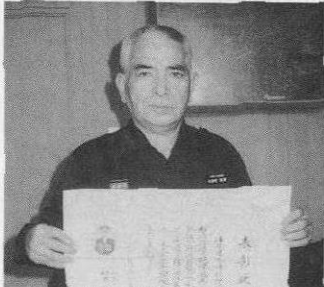
表彰

村消防団が 財日本消防協会より

今帰仁村消防団（与那嶺雄源団長、団員三十五人）が二月十四日財日本消防協会から表彰され三月九日役場で伝達式が行なわれた。今回の受賞は火災や水害時の出動、毎月一回の定期訓練、防火デーや出初め式への参加など昭和四十七年五月組織結成以来の地域への貢献が認められたもの。

特に最近では北部地区をはじめ沖縄県の消防操法大会において何回も優勝し資質の向上が図られている。

伝達式のあと与那嶺団長は「村民の生命と財産を守るために努力を重ねてまいります」と決意を述べた。



▲ 表彰を受ける与那嶺団長

湧川土地改良いよいよスタート 総事業費五億円をかけて

平成三年度完成予定

今帰仁村湧川土地改良区が発足、第一回通常総会が三月三十一日午後二時より湧川集落センターにおいて、組合員二十五人、来賓として上間博安村長が出席

▲湧川区初の土地改良完成めざし総会



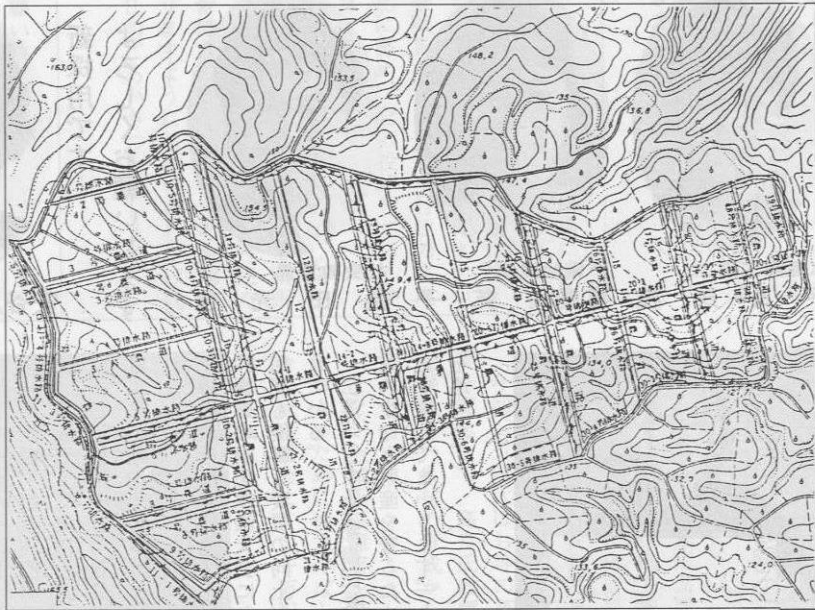
して行なわれた。総会に当たり、沢低安博理事長は「長い間の念願であった湧川土地改良区の事業がいよいよスタートする運びとなり誠に感謝に堪えません。今帰仁村をはじめ、沖縄県の各関係機関のご指導ご協力のもと、今後とも組合員一同が力を合わせて、土地改良事業を推進していきたい。」と決意を述べた。

ひき続き土地改良区設立に至るまでの経過報告がなされ、津波古清吉議長によって議案第一号から

議案第十五号までが慎重に審査され、万場一致により原案どおり可決、規約、役員報酬、賦課金、収支予算、村土地改良合同事務所と県土地改良事業団体連合会への加入、役員などがそれぞれ決定した。

なお、土地改良地区は今帰仁村字湧川底川原、整地面積三十四・六ヘクタール、道路延長五千八百九十八メートル、排水路延長五千六百五十二メートル、防風林延長千六百七十メートルの整備が予定されている。

議案がすべて決議された後、来賓祝辞に立った上間博安村長は、「今帰仁村初の県営土地改良事業である湧川土地改良区は、昭和五十九年推進委員会が発足以来土地改良の認可に向けて種々の手続きと準備がなされ、平成二年度元施行計画が決定、平成二年三月にいよいよ設立認可決定の運びとなり、スタートすることとは大変喜ばしいことであり、嵐山一体で実施することの土地改良事業は、五億円もの巨費を投じて行なわれるが、今後、



▲湧川土地改良区事業実施計画図

パイナップルの自由化によってますます厳しくなる市場環境に対応していくためには、経営の効率化を計り、より生産性の向上に努め上質でコストの安いパイナップルづくりをしていくことが重要な課題であります。土地改良によって活性化がなされ農業経営の安定化と所得の増大に向け、組合員が一致団結してこの事業を成功させていた

「できるかぎり協力を致します」とお祝いのことばを述べました。なお総会にひき続き「豚汁」に舌鼓をうちながら土地改良の喜びを話しあったり、懇親を深めた。

同土地改良の完成により農家の作業効率の向上、所得の増大が期待される。





▲社会教育を生涯学習の立場から推進しようと話合う参加者

1 社会教育は粘り強く推進し、一人ひとりがそれぞれの地域で頑張る住みよい社会建設をめざそうとの二点を確認しあった。また県立博物館の金武正紀氏による「掘り出された今帰仁の歴史」と題した記念講演も行われた。

2 社会教育は粘り強く推進し、一人ひとりがそれぞれの地域で頑張る住みよい社会建設をめざそうとの二点を確認しあった。また県立博物館の金武正紀氏による「掘り出された今帰仁の歴史」と題した記念講演も行われた。

社会教育の 向上をめざし 関係者らが研修会

1 生涯学習の推進と社会教育委員のあり方をテーマに第九回国頭・中頭合同の社会教育委員研修会が三月十三日、村コミュニティセンターで開かれた。研修会には、約二百人の関係者が出席して、それぞれの地域の活動の状況や研究成果について交換したり、討議をかさねた。研修の成果を各自の市町村に持ちかえって、社会教育の推進向上に役立てようというもので、

1 複雑多様化している今日の社会情勢の中で、有意義に生きていくためには生涯学習が大切でありかかせない。

今帰仁村職員採用候補者試験募集公告

- (1) 職 種 (一般事務職)
- (2) 受験資格
 - 1 高校卒業以上の者又は同等以上の学力を有する者。
 - 2 年 齢 平成2年6月1日現在 28才以下の者
- (3) 提出書類

1 採用試験申込書	1	通
2 自筆履歴書(横書写真貼付のこと)	1	通
- (4) 試験期日、場所
 - 1 期 日:平成2年5月20日(日)午前9時
 - 2 場 所:今帰仁村コミュニティセンター・ホール
- (5) 応募受付及び締め切り期間

平成2年5月7日(月)~16日(水)の午前9時~午後4時
但し土曜日の午後、日曜日は休みです。
- (6) 試験科目
 - 1 一般教養(2科目) 作文 面接
- (7) 結果通知

試験結果調書の報告を受けて、職員採用候補者名簿に登載後本人に通知する。

※詳しくは、村役場総務課総務係(電話56-2101)までお問い合わせ下さい。

自治大臣から表彰

村選挙管理委員会

村選挙管理委員会(上間精光委員長)が去った二月十八日に実施された第三十九回衆議院選挙で一致協力し選挙の適正な管理執行及び明るい選挙の推進に尽くしたとして、自治大臣から表彰され、県庁において伝達式が行われました。これまでに県選挙管理委員会からの表彰はありましたが、自治大臣からは初めて。

▼表彰を受ける上間精光委員長



●村民カレンダー

1990年

5月

皐月



5/1 火	○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン) ○手話サークル (19:30~21:00コミセン)	17 木	○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン) ○教育懇談会 (20:00~玉城、崎山公民館) ○高齢者学級開講式 (14:00~6:00コミセン)
2 水	○心配ごと相談 (13:00~17:00コミセン)	18 金	○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン) ○教育懇談会 (20:00~平敷、越地公民館)
3 木	○憲法記念日	19 土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00:00コミセン)
4 金	○国民の休日	20 日	○村職員採用試験 (9:00~コミセン) ○村職域野球大会 (サブグラウンド)
5 土	○子供の日	21 月	○ことばの教室 (13:00~17:00コミセン)
6 日		22 火	○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン) ○教育懇談会 (20:00~謝名、渡喜仁公民館) ○デイケア (13:00~17:00コミセン) ○手話サークル (19:30~21:00コミセン)
7 月	○ことばの教室 (13:00~17:00コミセン)	23 水	○心配ごと相談 (13:00~17:00コミセン) ○教育懇談会 (20:00~謝名、渡喜仁公民館) ○リハビリテーション (13:00~15:00コミセン)
8 火	○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン) ○教育懇談会 (20:00~今泊、運天公民館) ○手話サークル (19:30~21:00コミセン)	24 木	○日脳予防接種 (13:00~14:30コミセン) ○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン) ○農協通常総会 (14:00コミセン)
9 水	○心配ごと相談 (13:00~17:00コミセン) ○教育懇談会 (20:00~兼次、上運天公民館) ○リハビリテーション (13:00~15:00コミセン)	25 金	○北山老人大学 (14:00~コミセン) ○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン)
10 木	○ポリオ予防接種 (13:00~14:00コミセン) ○教育懇談会 (20:00~与那嶺、勢理客公民館) ○子豚セリ市 (13:00~家畜セリ市場) ○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン)	26 土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00コミセン) ○団体指導者研修会 (14:00~コミセン) ○子豚セリ市 (13:00~家畜セリ市場)
11 金	○DPT予防接種 (13:00~14:00コミセン) ○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン)	27 日	○海神祭 (14:00~運天港漁協前)
12 土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00コミセン) ○教育懇談会 (14:00~古宇利公民館)	28 月	○ことばの教室 (13:00~17:00コミセン)
13 日	○小児・乳児健診 (9:00~17:00コミセン) ○村職域野球大会 (サブグラウンド)	29 火	○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン) ○母子推進員定例会 (14:00~16:00) ○手話サークル (19:30~21:00コミセン) ○商工会通常総会 (15:00~商工会館)
14 月	○ことばの教室 (13:00~17:00コミセン) ○教育懇談会 (20:00~諸志、天底公民館)	30 水	○心配ごと相談 (13:00~17:00コミセン)
15 火	○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン) ○教育懇談会 (20:00~仲尾次、湧川公民館) ○手話サークル (19:30~21:00コミセン)	31 木	○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン) ○漁業協同組合総会 (14:00~上運天公民館)
16 水	○心配ごと相談 (13:00~17:00コミセン) ○教育懇談会 (20:00~興我山公民館) ○牛のセリ市 (11:00~家畜セリ市場) ○離乳食実習 (13:00~16:00中央公民館)	6/1 金	○ことばの教室 (9:00~12:00コミセン)

■これまで、先輩方が培ってきた「広報なきじん」をどのようにに継承していけばよいか。そして、多くの村民が気軽に参加できるような広報紙にしていけばよいかと悩んでいます。

■身近かで起こったホットな情報や伝えたいニュース、またご要望やご意見などがありましたら、是非お寄せいただきたいと思います。

■新緑がまぶしいほど美しく、まさしく初夏のいぶきが満ちあふれる五月。

■新入学だ、就職だと不安と期待の入り交じった新年度のスタートをきって、はやひと月。

■今帰仁村役場においても、人事異動が行なわれた。私もその一人で、広報担当という重大な任に預り、この責務をいかにして果たすべきかと気をもんでいるところだ。すでに原稿書きや取材へと飛び回っている毎日だ。

